

商店街名：栄町商店街振興組合【名古屋市、平成 28 年度指定】

1 活性化モデル商店街の概要

●キャッチフレーズ

ベルギーを始めとした国際文化の発信拠点

◎商店街の将来ビジョン

【現状】

- ・商店街エリア内には百貨店を始めとした商業施設が集積する一方で、飲食店、金融機関、企業のオフィスなどが立地しており、生活・娯楽・交流の場として、日々あらゆる層の人々が行き交っている。
- ・名古屋市の一大繁華街である栄地区の中心に位置し、市内外から幅広い年代の人々を集客する広域型商店街である。

【課題】

- ・名古屋駅前エリアにおいては、リニア新幹線の開通を見据えた社会的インフラの整備検討や超高層ビルの建築ラッシュなどが進んでおり、同エリアへの一極集中による栄地区の集客力低下の可能性が懸念されている。
- ・子どもやその家族を中心とした、ファミリー世代の集客が課題となっている。

【対策】

商店街を国際文化の発信拠点として位置づけることで、集客力を高める取組みを行う。

- ・姉妹提携したベルギーのルイーズ商店街との国際交流事業を、広小路夏まつり及びベルギー国王来日の時期に合わせ実施し、また、ハロウィンをテーマとした文化祭を秋に開催するなど、国際文化の発信により、商店街のにぎわいを創出し集客力を高める。
- ・ハロウィンをテーマとした小学生絵画コンクールや、子供向けのハロウィンイベントを実施し、ファミリー世代の来街を促す。

◎具体的に取組む事業内容

○栄町国際文化発信事業（28 年度～32 年度）

- (1) ルイーズ商店街との国際交流事業
- (2) 広ぶら芸ぶら文化祭の開催
- (3) 小学生絵画コンクールの実施
- (4) クリスマスをテーマとしたフラッグ装飾の実施

○広小路夏まつり

広小路通を歩行者天国にして、大規模なパレードや様々なステージイベント等を展開

2 活性化モデル商店街の実績・成果等

◎商店街の将来ビジョンの実績

ベルギーのルイーズ商店街との交流がもととなった小便小僧モニュメントが栄町にはあるが、これを活用することで、国際的な商店街であることをPRすることができ、計画年度最後の年である令和2年度は、名古屋を代表する世界的な作家やノーベル賞受賞者の手形等のモニュメントを新設することにより、さらに国際的な色合いが強まることとなった。

◎事業実績

○栄町国際文化発信事業（H28年度～R2年度）

- (1) ルイーズ商店街との国際交流を実施
- (2) ハロウィンをテーマとした広ぶら芸ぶら文化祭の開催
- (3) ハロウィンをテーマとした小学生絵画コンクールの実施
- (4) クリスマスをテーマとしたフラッグ装飾の実施

○広小路夏まつり（H28年度～R1年度）

広小路通を歩行者天国にして、大規模なパレード（音楽、山車、日本各地の踊り等）や、様々なステージイベント等を展開

◎事業の効果

例年実施していた広小路夏まつりは名古屋を代表する一大イベントとしてもとより認知されていたが、実施できなかつた令和2年度は、大学と連携して手形を設置し、ニュース等でも取り上げられたためさらなる知名度向上につながった。

◎新型コロナウイルス感染症を踏まえて取組んだこと

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、毎年実施していた「広小路夏まつり」は実施できなかった。その代替として、ノーベル賞受賞者手形等を作成したが、単なるハード整備に終わらせず、モニュメント前でお披露目イベントを実施することで、広小路通沿いを視覚面で賑わせた。

◎その他の成果

- ・単なるイベント実施に終わらず、ハード整備も併せて行ってきたことで、商店街に視覚的な変化をもたらすことができた。
- ・国際的な商店街であることを、ベルギーのモニュメントを活用することで、コロナ禍においても国際性をアピールできた。



（日本・ベルギー友交 150 周年記念講演会時の様子（H28 年度））